

中・高生のいる家庭に耳寄り！

# 制服リユースで家計応援

中学や高校の制服は新品だと夏冬一式で3万～4万円ほどになると言われ、家計への負担が大きい。少しでも負担を減らそうと、不要になった制服をリユース(再利用)する動きが広がっている。制服リユースに取り組んでいる団体と専門店を取り上げる。(安里則哉)



来店した親子に対応する森田さん(右)。丁寧に制服のサイズを確認する

★子ども応援団「笑ひん」

☎070(5492)0378 (森田)

※連絡は土・日曜希望

🕒毎週土曜日10時～12時

✉warabin2015@gmail.com



団長の森田さん(左)と副団長の糸数さん

**沖** 縄市の子ども応援団「笑(わら)びん」。

沖縄市中央の店舗を借りて、卒業生らから、使わなくなった学生服やジャージ、体育着を提供してもらい、必要としている人に格安で販売している。団長の森田好美さん(48)は「私も2人の子どもを育てている時、制服を譲っていただけ支えられた。同じ子育て世代の助けになれば」と2015年に活動を開始。同市内の中学・高校の制服約200着を扱っている。

取材時に来店していた親子は、転校先の中学校の先生に聞いて訪れたという。母親(30代)は、「急いで制服を用意しなければならず、まずは思っただけ探しにきました。ぴったりのサイズのものが見つかり、助かりました」と喜び、子どもと一緒に笑顔を見せていた。森田さんは「同じ母親とし

子ども応援団  
「笑ひん」

## 「助かりました」が励み

で、少しでも役に立てたようであれしい」と話す。親子の笑顔が励みになっているようだ。来店客の中には「制服を使わなくなったら譲りに来ます」と森田さんに声をかける人もいて、制服を有効利用してもらいたいという思いが広がっている。森田さんが伺えた。

森田さんと副団長の糸数綾乃さん(45)は「今の活動を続け、親子で楽しめるワークショップなども展開し、気軽に集える場にした」と意欲を見せた。「笑ひん」では、沖縄市内の中・高のPTAに協力してもらい、卒業式などでチラシを配布し、制服の提供を呼びかけている。また、制服を譲りたいという人には、毎週土曜日の活動日に直接店舗に持ってきてもらい引き取っている。平日は、沖縄市社会福祉協議会と同市市民活動交流センターで預かることも可能だ。